

相模中学校だより 5月号

令和4年5月17日 発行：校長 金子憲勝
(カラー版は学校ホームページに掲載しています)

令和4年度が始まり1か月以上が経過し、生徒たちは継続して感染症対策をしながら落ち着いた態度で、学校生活を送ることができています。また、部活動の春の大会では、一生懸命にプレーする生徒の姿が大変素敵でした。幾つのかの部が、県央大会の上位に入っていますので、夏の大会が大変楽しみです。

次に、5月7日(土)には、土曜参観と部活動保護者会を計画どおりに実施することができました。多数の保護者の皆様に出席いただきましたが、保護者の皆様の感染症対策等の協力によりスムーズに進めることができました。その協力に対して、心より感謝申し上げます。

さて、今回の相模中学校だよりでは、各学年代表者の言葉を載せますので、どうぞご覧ください。3人の代表者の言葉を読んでいると、それぞれの学年が目指していることが分かるとともに、生徒のやる気が伝わってきます！

【1年生代表】 1年1組 林 璃莉

私は、通うのが楽しいと思える学校にしたいです。それぞれの個性を認め合い、お互いのことを尊重し合えると、安心して学校に来られると思います。安心できる場所になると、自然と楽しむこともできるようになれると思います。その第一歩として、まずは私が、まわりの人の意見を取り入れて行動していけるように頑張ります。よろしくお願いします。



【2年生代表】 2年1組 山田 美夕海

今年度、緑学年は去年から取り組んでいる「あいさつNo.1学年」という目標を少しずつ変化させながら、さらにレベルアップしていきたいと思っています。3年生の背中を見て、この1年で先輩というものを学び、1年生に頼られる素敵な先輩になれるように、2年生学級委員長一同協力し全力で活動していきます。



【3年生代表】 3年5組 宮崎 双葉

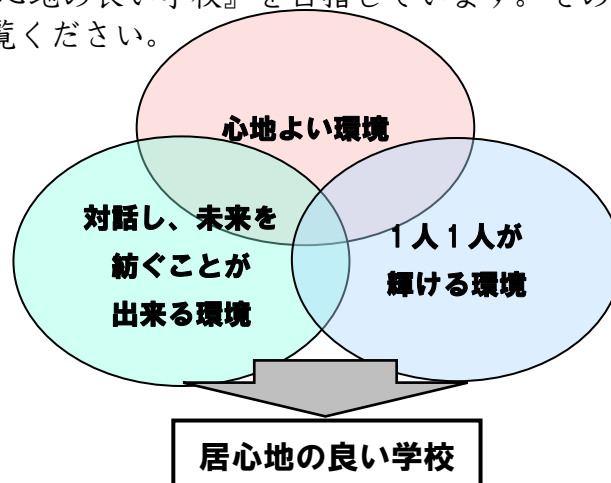
前期学級委員長は、「大樹を育てる」ことを目的として活動しています。大樹についている葉は、赤学年一人一人のことです。その大樹に活動という名の水を与えます。そして、次に入ってくる赤学年が安心して住める「巣」になれるよう育てていきます。また、学年全員で赤学年を創るということにも、力を入れていきます。最初の水やりとして、学年目標は「一人一人が学校を引っ張っていくリーダーになる」にしました。一人一人が学校を引っ張っていくリーダーになり、大樹を育てていきます。

続いて、今年度の生徒会目標について生徒会長の廣畑恋さんと副会長の二角莉央さんに取材した内容を載せます。

今年度の生徒会目標は「未来を紡(つむ)ぐ」で、私たちは『居心地の良い学校』を目指しています。そのために、私たちが大切にしている観点が3つあります。下の表と右の図をご覧ください。

① 心地よい環境	挨拶推進活動・校内美化推進活動
② 1人1人が輝ける環境	みんなで参加でき、コミュニケーションが取れる活動
③ 対話し、未来を紡ぐことができる環境	誰でも自分の意見を発信できる活動 (情報機器等を活用して)

居心地の良い学校



まず、「心地良い環境」のために、挨拶・校内美化推進活動を考えています。次に、「1人1人が輝ける環境」のために、皆で参加でき、コミュニケーションがとれるような活動を企画したいと思っています。最後に、「対話し、未来を紡ぐことができる環境」では情報機器等を活用しながら、生徒会活動を透明化したいと思っています。この3観点を絡(か)ませながら、生徒の皆さんと未来を紡(つむ)いでいきたいです。私たちは、沢山の仲間たちと共にこの目標の実現を目指しています。どうぞよろしくお願いします。今後、生徒総会などで、詳しく伝えていく予定です。